

成田空港の機能強化に関する住民説明会が開催されました

昨年9月から「成田空港の更なる機能強化」が四者協議会(国土交通省・千葉県・横芝光町を含む空港周辺9市町・成田国際空港株式会社)で議論されてきました。9月27日の四者協議会で具体的に示された案は、当町に大きな影響を及ぼす可能性のある第3滑走路(C滑走路)の位置や、夜間飛行制限の緩和などの提案でした。

提案を受け住民説明会が10月6日、8日、16日、大総小学校体育館(2回)、文化会館(2回)、町民会館(1回)で行われ、国土交通省、千葉県、成田国際空港株式会社、町長等が出席しました。

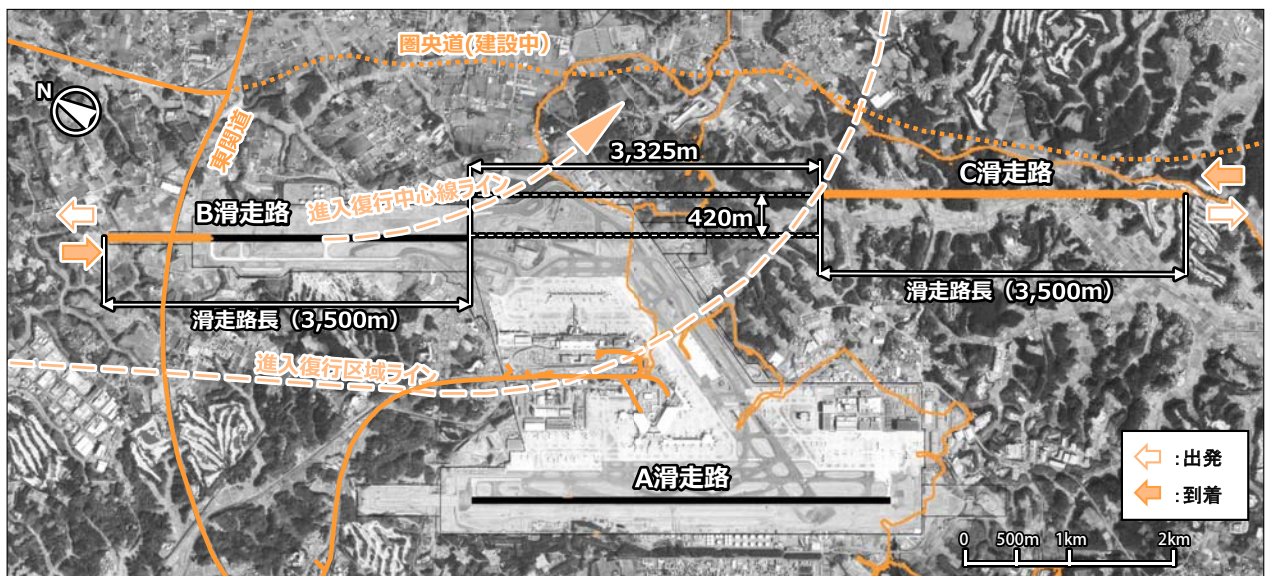
集落説明会は、集落の要望に応じて今後も開催されます。(上記5回の住民説明会の主な質疑内容は、町ホームページで公開しています)



四者協議会で示された案

住民説明会資料：「成田空港の更なる機能強化に関する調査報告について(その3)」(成田国際空港株式会社作成)の抜粋

① C滑走路の具体的な位置及び空港敷地範囲の検討(滑走路の具体的な配置検討)



■ B・C滑走路の具体的な配置は、上図のとおり。

配置の考え方

- ① B滑走路を北側へ延伸。
- ② B滑走路の進入復行区域が、C滑走路と重複しないようにする。(両滑走路の南北方向の離隔：3,325m)
- ③ C滑走路とB滑走路の間隔については、エプロン等の諸施設の配置上、なるべく遠ざけることが望ましい。(B・C滑走路の中心線間隔：420m)
- ④ 圏央道の整備計画と整合を図る。

※ B滑走路の延伸と C滑走路の整備は、東関東自動車道と圏央道を含む道路等に多大な影響を与えるため、今後関係者と協議・検討していくことが必要。